

平成17年度事業計画書(案)

1. 会員による研究会活動の活性化

昨年より始まった研究分科会活動等を通じて、関心を共通にする学会員の共同研究活動を活発化し、大会時のワークショップや日常活動の活性化を図る。また産学官などに属する学会員の相互交流を活発化する。また、社会的重要な課題に対して、見解表明ないし施策提言を行うような研究分科会活動を、本部各支部が連携して行う。

2. 都市防災の取り組み強化

昨年発足した新潟中越地震災害復興調査特別委員会の活動を継続し、市街地開発と防災、避難行動に対応した避難所整備の方策などについて提言する。さらに自然災害に伴う都市の被害縮減のために研究を深める

3. 都市計画 CPD 教育実施

建設系 CPD 協議会のもとで、都市計画関連各協会と連携し、教育プログラムの作成やシステム設計・試行を行い、18年度実施に向け準備を進める。

4. 学会21世紀ビジョンの具体化

上記1,2,3を含め、15年度に公表した「日本都市計画学会・21世紀ビジョン・新時代における創造と提案」にもとづく、ビジョンの具体化を16年度に引き続き実施する。

5. 機関誌等の刊行

機関誌「都市計画」を隔月刊行(年間6冊)する。また都市計画論文集3冊(CD-ROM・2冊及び冊子1冊)、都市計画報告集1冊(CD-ROM・1冊)を刊行する。またこれまで発行してきた論文集などの復刻版の発行を企画・実施する。

6. 学術研究論文発表会の開催

平成17年11月19日(土)、20日(日)の2日間にわたり、千葉大学西千葉キャンパスにおいて行う。

7. 都市計画セミナーの開催

平成18年1月19日(木)20日(金)(案)の2日間にわたり、早稲田大学国際会議場において行う。

8. 月例懇話会及び見学会の開催

外部講師による懇話会を年3回、及び現地見学会を年1回行う。

9. 海外向け「ニューズレター」による情報発信

我が国の都市計画事情を海外の関係学協会・研究機関等に紹介するとともに、相互の情報交流を目的として「CPIJ ニューズレター」をホームページ上で公開する。

10. 学際的・国際的学術交流

平成17年10月7日(金)～11日(火)の5日間にわたり、韓国・済州島で国際都市計画シンポジウムを開催する。この他内外の関係学協会との学術交流を進める。

11. 学会賞、功績賞・国際交流賞の選考

都市計画の論文や計画設計の中より優秀なものを選考し学会賞を授与する。

都市計画の進歩発展に寄与するもの、国際的交流に貢献したものを選考し表彰する。

12. 委員会活動・支部活動

学会の事業遂行のため必要な委員会活動及び支部活動を行う。また学会発展のため北海道・東北支部創設について検討を行う。